

ウォーターPPP導入可能性調査に係るマーケットサウンディング調査
第3回調査（ヒアリング調査）結果概要

1. 実施主体

大分市上下水道局 経営企画課

2. ヒアリング実施期間

令和6年10月28日（月）～11月29日（金）

3. アンケート回答者数

25者

表-1 回答者数内訳

回答者業種	回答者数
シンクタンク・コンサルタント	4
電気・機械メーカー	9
プラントメーカー・プラントエンジニアリング	4
建設業	2
製造業	1
維持管理業	5

4. 調査結果

主な意見は以下のとおり。

(1) 地元企業の活用について

- ・地域貢献や経済的な波及効果の観点から極めて重要。
- ・公募前に地元企業と大企業の交流の場を設け、相互理解を深めることが重要。

(2) リスク分担について

- ・リスク分担については、物価変動や災害リスクについて、範囲の明確化が重要。
- ・不明確なリスクは提案金額に影響を与える。
- ・災害については、地元企業も含めた連携体制の構築や協定が必要。

(3) 公募条件等について

- ・可能な限りオープンで、多様な事業者が参画できる要件にすべき
- ・検討の時期によらず、意見交換やサウンディングの機会が多くあることが重要。
- ・事前に話し合いができていればできているほど、公募時に質問が少なくなるなど、双方にとって大きな労力削減につながる。